

事後評価調書  
【ほ場整備事業】

農林水産局農地整備課

# 事後評価調書

部課室名	農政環境部農林水産局 農地整備課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	農地整備課長 二位 孝夫 (基盤保全向上係長 川口 義人)	内線	4003 (4016)
------	---------------------	---------------------	----------------------------------	----	----------------

事業種別	農林水産基盤整備事業	事業名	基盤整備促進事業	事業主体	神戸市八多土地改良区
地区名	西畑・深谷地区		所在地	神戸市北区八多町	

<b>事業目的</b> 本地区は、一部地すべり区域を含む山間棚田で狭小・不整形田が多く、かつ用排水施設・農道が未整備のため、耕作に多大な時間を要し不安定な農業経営を強いられてきた。このため、ほ場整備と公共・民間残土を利用した抑え盛土により区画形状の改善・地形の安定化、用排水路や農道等の整備を総合的に実施し農業経営の安定化を図り、安全で住み良い農村整備にも寄与している。	<b>事業内容</b> ・ほ場整備 受益面積 20.5ha (本地面積 16.4ha) <table style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="border: none;">{</td> <td style="border: none;">道路 L=6.6km</td> </tr> <tr> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;">パイプライン L=8.9km</td> </tr> <tr> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;">排水路 L=5.6km</td> </tr> </table> 直接農作物の栽培に供される土地で畦畔を除いた耕地 ・かんがい排水 受益面積 85.3ha(ほ場整備受益 20.5ha 含む) [送水パイプラインL=14.6km] [国:50%、県:25%、市:15%、地元10%]	{	道路 L=6.6km		パイプライン L=8.9km		排水路 L=5.6km
{	道路 L=6.6km						
	パイプライン L=8.9km						
	排水路 L=5.6km						

事業期間	計画	H3年度～H14年度 再評価時	事業費 (うち用地補償費)	計画	約12.2億円(約0.2億円) 再評価時
	実績	H3年度～H14年度		実績	約12.2億円(約0.2億円)
完了年月	平成15年3月		過去の評価	H12再評価(継続)	

**事業を取り巻く社会経済情勢等の変化**

本地区の農地 85.3ha は、かんがい排水により農業用水の不足、ほ場整備により狭小で不整形な区画等が改善された。これらを契機として、2つの営農組合が設立され、56%の農地を集積したことにより、大型機械を導入した効率的な営農が図られている。

- かんがい排水
  - 東播用水事業がS45～H5にかけて幹線水路の整備が実施された。
  - 本地区のかんがい排水により、送水管の整備が実施された。
- ほ場整備
  - 本地区のほ場整備が実施された。(受益面積 20.5ha)
  - その他の農地においても、屏風地区をはじめ3地区のほ場整備が実施された。(受益面積 60.4ha)
- 営農組合
  - 本地区のほ場整備を契機として、H14に深谷営農組合が設立された。(集積面積 25.6ha)
  - 屏風地区のほ場整備を契機とし、H12に屏風営農組合が設立された。(集積面積 22.1ha)

面積 (ha)	地区全体農地	営農組合への農地集積		[参考] ほ場整備済面積	
		集積率	集積率	整備率	整備率
昭和59年度	85.3	0.0	0%	0.0	0%
平成19年度		47.7	56%	80.9	95%

**事業の効果の発現状況**

想定した整備効果等	整備後の状況																																										
<b>直接効果</b> [ほ場整備区域 20.5ha] (本地面積 16.4ha)	本地区は、地すべり防止区域を含むことから畦畔面積が増加し本地面積が計画 18.5ha から 16.4ha に減少した。このため、計画の作付面積については本地面積の減少を見込んだ数値とした。																																										
1 営農経費の節減状況	(1) 作業機械の大型化に伴い利用効率が高まり、また用水のパイプライン化に伴い水管理時間の短縮が図られたことから、水稻作付けに係る労務時間の短縮が図られた。																																										
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>年間労務時間 (hr/10a)</th> <th>計画</th> <th>実績</th> <th>増減 = -</th> <th>[参考] 整備前</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水稻・酒米</td> <td style="text-align: center;">20</td> <td style="text-align: center;">9</td> <td style="text-align: center;">11</td> <td style="text-align: center;">58</td> <td>実績：深谷営農組合から聞き取り</td> </tr> </tbody> </table>	年間労務時間 (hr/10a)	計画	実績	増減 = -	[参考] 整備前	備考	水稻・酒米	20	9	11	58	実績：深谷営農組合から聞き取り																														
年間労務時間 (hr/10a)	計画	実績	増減 = -	[参考] 整備前	備考																																						
水稻・酒米	20	9	11	58	実績：深谷営農組合から聞き取り																																						
2 作物の生産状況	(1) 水稻は計画より 1.1ha 増加したものの、飼料作物は地区内の畜産農家の廃業に伴い 4.9ha 減少したことから、全体として作付面積は 3.6ha 減少した。																																										
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>作付面積 (ha)</th> <th>計画</th> <th>実績</th> <th>増減 = -</th> <th>[参考] 整備前</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水稻</td> <td style="text-align: center;">9.2</td> <td style="text-align: center;">10.3</td> <td style="text-align: center;">1.1</td> <td style="text-align: center;">16.7</td> <td rowspan="6">実績：地元集落から聞き取り</td> </tr> <tr> <td>酒米</td> <td style="text-align: center;">1.9</td> <td style="text-align: center;">2.0</td> <td style="text-align: center;">0.1</td> <td style="text-align: center;">1.7</td> </tr> <tr> <td>野菜(白菜、トマト等)</td> <td style="text-align: center;">1.9</td> <td style="text-align: center;">2.0</td> <td style="text-align: center;">0.1</td> <td style="text-align: center;">1.5</td> </tr> <tr> <td>飼料作物</td> <td style="text-align: center;">5.5</td> <td style="text-align: center;">0.6</td> <td style="text-align: center;">4.9</td> <td style="text-align: center;">4.6</td> </tr> <tr> <td>計 A</td> <td style="text-align: center;">18.5</td> <td style="text-align: center;">14.9</td> <td style="text-align: center;">3.6</td> <td style="text-align: center;">24.5</td> </tr> <tr> <td>全体本地面積 B</td> <td style="text-align: center;">16.4</td> <td style="text-align: center;">16.4</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">22.9</td> </tr> <tr> <td>作付率 A/B</td> <td style="text-align: center;">113%</td> <td style="text-align: center;">91%</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">107%</td> </tr> </tbody> </table>	作付面積 (ha)	計画	実績	増減 = -	[参考] 整備前	備考	水稻	9.2	10.3	1.1	16.7	実績：地元集落から聞き取り	酒米	1.9	2.0	0.1	1.7	野菜(白菜、トマト等)	1.9	2.0	0.1	1.5	飼料作物	5.5	0.6	4.9	4.6	計 A	18.5	14.9	3.6	24.5	全体本地面積 B	16.4	16.4	-	22.9	作付率 A/B	113%	91%	-	107%
作付面積 (ha)	計画	実績	増減 = -	[参考] 整備前	備考																																						
水稻	9.2	10.3	1.1	16.7	実績：地元集落から聞き取り																																						
酒米	1.9	2.0	0.1	1.7																																							
野菜(白菜、トマト等)	1.9	2.0	0.1	1.5																																							
飼料作物	5.5	0.6	4.9	4.6																																							
計 A	18.5	14.9	3.6	24.5																																							
全体本地面積 B	16.4	16.4	-	22.9																																							
作付率 A/B	113%	91%	-	107%																																							

(2) 水稲は計画に比べ収穫量が増加しているが、酒米については作付面積が増えているものの、単収が増加していないため収穫量は計画に比べ減となっている。

収穫量 (t)	計画	実績	増減 = -	[参考] 整備前	備考
水稲	48 (0.52)	52 (0.51)	4	78 (0.47)	( )内は単収t/10a 実績：JA兵庫六甲から聞取り
酒米	10 (0.52)	9 (0.47)	1	8 (0.47)	

3 維持管理費の節減状況

(1) 農道の維持管理では、草刈のほか敷砂利補充等の補修を計画したが、事業完了後5年と経過年数が浅いため、まだ補修等が見られず賦役時間は少なくなっている。  
水路の維持管理も農道と同様、経過年数が浅いため、草刈、泥上げ等の賦役時間は少なくなっている。

賦役延時間 (hr/年)	計画	実績	増減 = -	[参考] 整備前	備考
農道	1,632	320	1,312	510	実績：地元集落から聞取り
水路	306	200	106	765	
計	1,938	520	1,418	1,275	

4 効果まとめ

(1) 深谷営農組合が田植え、稲刈り等を受託することにより効率的な営農が図られ、営農時間は大幅に節減されている。  
(2) 作付率は100%を下回っているが、作付されていない田は管理転作田等として適正に管理されている。  
(3) 維持管理の賦役時間は現状では少ないが、今後老朽化が徐々に進み補修が必要になり増加すると推測される。

[参考]水稲、酒米の粗収益及び営農経費、維持管理費（試算値）

費用 (千円)	計画	実績	増減 = -	[参考] 整備前	備考
A 収入	15,906	16,445	539	22,308	実績：地元集落から聞取り等
作物粗収入	15,906	16,445	539	22,308	
B 支出(a+b)	14,556	8,280	6,276	48,580	
a 営農経費	9,587	7,447	2,140	46,192	
b 維持管理費	4,969	833	4,136	2,388	
収支(A-B)	1,350	8,165	6,815	26,272	

[かんがい区域 85.3ha]

5 不足水の供給

間接効果

1 整備による災害発生の抑制

(1) 慢性的に農業用水が不足していたが、東播用水の供給により解消している。  
ア かんがい期間(米作期間) 不足水 414 千t 不足水 0t

(1) 農地畦畔や水路の崩壊などの災害が起こりにくくなった。  
ア 整備前 S63年災(87mm/日) 被害額 575 千円  
H元年災(150mm/日) 被害額 1,097 千円

イ 整備後 H16年災(138mm/日)被災無し

2 水路・農道整備による生活環境の改善

(1) 受益者アンケート（回収率 23/45=51%）  
ア 農道が整備され、通勤・通学が安全、便利になった。 効果有り:90%  
イ 農道のぬかるみや砂ぼこりが少なくなり、快適になった。 効果有り:90%  
ウ 河川や水路の水質がよくなった。 効果有り:76%

事業実施による周辺環境への影響

1 集落の活性化  
H11年に八多グリーンヴィレッジ(市民農園、166区画、50m<sup>2</sup>/区画)が開設され、都市住民との交流が始まった。(H20現在満員)

特徴的な取組み

1 地区内の一部が地すべり指定区域であったため、対策のための抑え盛土工法には盛土材約47万m<sup>3</sup>の土が必要となった。盛土材調達に際しては山等の土取場から調達するのではなく、公共・民間残土を利用することで経済性や農村地域の環境に配慮した。

## 改善措置の必要性

- 1 本地区の作付率は計画 113%に対して実績 91%と目標に達していないことから、神戸農業改良普及センター及び神戸市、J A兵庫六甲等関係機関が連携し、計画目標の達成に向け、土地改良区、地元農家を指導する。
- 2 畜産農家の廃業に伴う飼料作物の作付減が大きいことから、野菜の作付拡大や新規作物の導入について検討するとともに、深谷営農組合への農地の集積を図る。

## 同種事業の計画・調査・事業実施のあり方、事業評価手法の改善等

- 1 営農の維持継続と受益者の合意形成
  - (1) 本事業では、深谷営農組合に農地を集積することで大型機械の導入等により水稲、酒米作の営農の効率化が図られているものの、今後高齢化が進む中で営農組合への農地集積がより一層重要になってくる。
  - (2) 過疎・高齢化が進む中、将来の営農を踏まえ、担い手へ農地集積を進めるよう、受益者に説明・合意を得る必要がある。
- 2 農作物の計画的栽培
  - (1) 今後、作付計画を策定するにあたっては、今まで以上に地元農家をはじめ、農業改良普及センター、市町、J A等関係機関と十分に連携する必要がある。
  - (2) 本事業では事業完了後、飼料作物の作付が大幅に減る結果となった。  
その他の地区でも作付計画の見直し等が予測されることから、事業主体等に対し、農業改良普及センター、市町、J A等が連携し、重点的に指導する体制を確立することが必要である。

### 1. ほ場整備

#### 施工前



#### 施工後



写真1 施工前後状況



## 2. 深谷営農組合



写真2 深谷営農組合機械倉庫



写真4 代かき作業中



写真5 稲刈り作業中

## 3. 八多グリーンヴィレッジ(市民農園)





基盤整備促進事業 西畑深谷地区受益図

